

IT時代における情報教育のあり方とは

～ 学びの可能性を探る ～

中村 匡秀

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科

〒630-0101 奈良県生駒市高山町 8916-5

masa-n@is.aist-nara.ac.jp

Tel 0743-72-5312, Fax 0743-72-5319

本講演では、IT技術を情報教育にどう生かすかについて、最近の動向、筆者の経験から概説する。以下のアウトラインに沿って説明を行う。

1. 背景・情報教育の位置づけ

最初に、情報教育を必要とする社会的背景を概観し、実際の情報教育には何が求められているかについて、筆者自身の考えを述べる。主に情報リテラシ教育に焦点を絞り、情報リテラシ教育の本質である 情報の受信、情報の選択・加工、情報の発信に対して、IT技術がどのように位置づけられるのか考察を行う。

2. ITを用いた情報リテラシ教育

筆者の前任地である大阪大学の情報リテラシ科目「情報活用基礎」での経験を元に、高等教育における情報リテラシ教育を教育的側面から概説する。具体的には、1節で述べたのそれぞれについて、内容の紹介、講義において重要と思われる点、鍵となるIT技術について述べる。

3. 情報教育システム

情報教育には情報教育システムが欠かせない。ここでは、大阪大学サイバーメディアセンターの情報教育システムを紹介し、情報教育に求められるシステム機能をシステム・管理的側面から考察する。

4. 最近の流行

最近の情報教育における主要なキーワード、トピックの紹介を行う。主にe-LearningやCALLシステムなどを紹介する。

5. 最後に

本講演の準備にあたり多大なご尽力を頂いた大阪芸術大学短期大学部・武村泰宏先生に深謝いたします。なお、この講演のスライド、および、関連資料は以下のWebサイトにて公開予定である。ご興味のある方は参照されたい。

<http://se.aist-nara.ac.jp/~masa-n/misc/it-forum21/>